

2023年もあとわずかとなりました。11月は暑い日と寒い日が交互にやってきて、寒暖の差に戸惑う晩秋でしたね。これから冬本番となりますが、おいしいお米と冬野菜を食べて元気にお過ごしください。

今月のお米：桁山稔博さん「ヒノヒカリ（新米）」：南笠原地区

今年は非常に米を作りやすかったです。夏は、水が欲しい時にちょうどよくにわか雨や雷雨があり、水の管理がしやすくて、田んぼの見回りもあまりしなくてよかったです。うちの田んぼでは害虫の被害も少なく、農薬も減らすことができました。台風が来なかったことが何よりで、稲刈りも楽でした。例年は稲が少し倒れてしまうので、コンバインで2列ずつ刈るのですが、今年はシャンと立っていたので、3列ずつ刈ることができ早く終わりました。こんな年はめずらしいです。

それから、タケノコを掘ったあとの皮と根元を田んぼに入ると、よか肥料になります。その効果もあったと思うのですが、収量も多くてよかったです。

うちは年間を通して野菜を作るとるけん、落ち着く時期がなく休みなしです。よく身体が続くなあとと思うけど、睡眠を良くとり、野菜をたくさん食べることが健康の秘訣やないかなと思っています。

サポーターのみなさん、お米を食べてくださりいつもありがとうございます。これからもがんばりますので、よろしく願います。(桁山稔博)



※農薬化学肥料不使用をお申込みの方には、大橋幸太郎さんの「農薬化学肥料不使用縁結び」をお届けしています。

◆事務局より

○次回のお届け **次回は 1/5（金）発送**です。安達保さんの「ヒノヒカリ」をお届け予定です。追加注文や精米歩合の変更、配達先変更をご希望の方は、**発送前月 20日まで**にお知らせください。

山村塾の日常を
発信中です！



山村塾
Instagram



美しい棚田を未来へ

特定非営利活動法人 山村塾

〒834-1222 福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL/FAX:0943-42-4300 E-mail: info@sansonjuku.com

山村塾 HP <https://sansonjuku.com>

【現在のサポーター数】11月 78名→77名/111.25俵（個人：74、企業/団体：3）

【守られている棚田面積】18,542㎡（111.25俵⇒185.4a 収量6俵/10aとして）

- ◆美しい棚田の風景と、それを守り引き継ぐ仕組みづくりを目指して、お米を食べて応援して下さるサポーターを募集しています。
- ◆山村塾の活動は皆様からのご寄附で支えられています。



山村塾ホームページ

棚田米新聞も掲載しています